

特集

「家族看護/支援」を 充実させる

渡辺式家族アセスメント/支援モデル を実践に活かしてみよう

在宅看護の一丁目一番地は家族看護/支援。多くの方が同意するはずですが、それは決して簡単なものではありません。

病気や障害とともにある生活が、マスクされていた家族の課題を浮き彫りにすることがあります。今はコロナの感染拡大の影響も無視できません。コロナ禍では、病院・施設の面会制限に伴って家族内交流が減っていたり、あるいは、「面会制限」の回避を優先して十分な議論や準備がないまま在宅療養生活が選択されたりするケースも生まれました。コロナとそれに影響されて起こる状況が、家族の関係性に揺さぶりをかける要素になっているのです。

本特集では、現代的な家族像を考え、現場の困り事の解決に導く一つの方法論としての「渡辺式家族アセスメント/支援モデル」を解説します。

「家族」をどのようなものとして捉えたとよいか

●渡辺裕子

具体的な方法論としての「渡辺式家族アセスメント/支援モデル」

●垣見留美子／株崎雅子

渡辺式家族アセスメント/支援モデルや「人間関係見える化シート」を用いた実践集

●富岡里江／茶谷妙子／堤真紀

※一部変更となることがあります。

編集後記

本号は2022年10月7日に行った公開収録の様を再構成＆ブラッシュアップした特集です。公開収録にご参加くださった皆さん、ありがとうございました。▶「第7波はこれまでの波とは違った質感」。8月末、藤田さんが電話でそんなことをおっしゃっていて、そのディティールをきちんと形にしたいとなって動き始めた企画でした。藤田さんの素朴な実感に喚起されたわけです。▶特別記事の座談会は、特集が企画経緯もその主旨も異なるのですが、呼応する内容です。こちらは、川口さんの「そもそも社会は滑りやすい」「障害・難病者にとっては、なんらかの基準自体が脅威になる」という話にはっとしました。私の認識する社会とまったく異なる形で社会を認識している人がいることを、あらためて指摘された思いでした。他者の実感は気にかけないと見過ごしてしまいます。▶「素朴な実感」と言えば、今号スタートの巻頭連載「生活の輪郭」です。看護師であり、写真家である著者・尾山さんが目にした風景から人々の暮らし、看護へのつながりを見るような内容にもなりそう。この連載が書かれることも、尾山さんの素朴な実感が出発点にあるはずですが。2023年もどうぞよろしくお願いいたします。…小池

訪問看護と介護 第28巻 第1号（通巻313号） 2023年1月15日発行（隔月15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo*2022, Printed in Japan

1部定価：1,650円（本体1,500円＋税10%）

販売・PR部：☎03-3817-5650 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・木下

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaigo

医学書院ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

印刷：三報社印刷株式会社

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「訪問看護と介護」は株式会社医学書院の登録商標です。